

令和2年度 山王保育所事業計画

1. 概要

①運営方針

- 西成区では少子化が進み区内の保育園では地域差はあるものの定員割れの園が多くありますが、地域のニーズに応えながら情報発信を行い山王保育所の存在を広く知ってもらえるような活動をします。
- 今年度は職員異動がありませんので、偏りがちだった乳児担任保育士、幼児担任保育士を入れ替え全職員が乳幼児の発達を理解できるようにしていきます。0歳児から5歳児までの繋がりのある保育を意識して、クラス間の連携を図ります。
- 危機管理委員会を中心にマニュアルの整備、勉強会や訓練を行い災害や、事故に備えます。
- 働きやすい職場を目指し、意見の出やすい環境を整え職員の意見を集約し職場に反映します。事務仕事を見直しその時間の確保を行います。
- 乳児クラスの子ども達がベランダで遊べる固定遊具を購入します。

②定 員 90名

③事業日数 293日（日曜、祝日及び12月29日より1月3日は休園とします）

④開所時間 平日7：30～18：30 土曜日7：30～18：30

⑤保育時間

（保育標準時間） 平日・土曜日 7：30～18：30

（保育短時間） 平日・土曜日 早朝保育 7：30～ 8：00
通常保育 8：00～16：00
延長保育 16：00～18：30

⑥職員数

園長1名 主任1名 保育士17名（うち契約職員4名 パート保育士1名 パート派遣保育士2名）
パート看護師1名 栄養士1名 調理員 3名（うちパート調理員2名）、嘱託医（内科・歯科）各1名（内科年3回、歯科年1回 健診）

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。

- 私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 子どもたちが生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し、人として『生きる力』を育む。
- 保護者との信頼関係を築き、安心して預けられる保育の場を提供する。
- 地域における子育て支援のため、保育に関する相談や助言の役割を果たす。

③保育目標

- 乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判定、言語理解など）と否認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

④クラスの編成及び職員配置

0歳児	さくらんぼ組	9名	保育士3名
1歳児	いちご組	12名	保育士2名
2歳児	もも組	12名	保育士2名
3歳児	くり組	18名	保育士2名（うち3歳児対応加配保育士1名）
4歳児	みかん組	19名	保育士1名
5歳児	かき組	20名	保育士2名（うち障がい児加配保育士1名）
合計園児数		90名	保育士12名
障害児保育担当保育士		1名	
フリー保育士		2名	

⑤保育内容

- 全体的な計画に基づき、年間カリキュラム、月案、週日案と繋がりのある計画を立て、その目的に沿った保育内容を日々の保育で行います。
- 今年度も継続して各年齢に合った「立腰教育」を年間カリキュラムに位置付け計画的に毎日取り組みます。
- 乳児クラスは緩やかな担当制保育を行い、特定の保育士との継続的な愛着関係を築き、安心して自分の思いを出せる環境を整え、その中で「あれ？なんだろう」「やってみたい」「できた」「おもしろい」「もう1かい！」と思える保育を念頭に、子ども達の探索活動を満たし自己肯定感を高めます。
- 幼児保育は一日の保育の流れに沿って子ども達が興味を持って取り組める課題を設定するとともに遊び込める環境づくりを行い、集中力を養います。また、子どもの言葉に耳を傾け、気付きや困りごと等他児にも発信し一緒に考えたり、遊びを発展させたりするきっかけづくりを行います。普段の生活の中、自分で考え、他児の思いに気付けるコミュニケーション力を培います。

- リーフレット「種をまこう」を教材として月 1 回人権教育を行います。また、保育者も一人ひとりの子どもの人権を尊重した保育を行います。虐待への早期発見に努めます。
- 栄養士が中心となり立案した「年間食育計画」に基づき、菜園活動や調理活動に取り組みます。乳児クラスは、少人数の一口食べを継続して行い、よく噛んで食べることや食事のマナーを一人ひとりの発達に合わせて取り組んでいきます。幼児クラスは、食育「魚の解体」を見学し、命をいただいていること、「3 色群分け」で好き嫌いなく食べる事の大切さを意識できるように取り組みます。
- 「ヤクルト」「府民共済」等外部の方を食育活動に招き、子ども達に「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」の大切さを伝え、保護者を巻き込みキャンペーンを行います。
- 今年度も外部講師による、音楽指導（和太鼓）・英語指導・歌唱指導・サッカー指導、絵画指導を行います。
- 行事が日常保育の妨げにならないよう、日々の保育が行事に繋がる計画を立て進めます。

⑥家庭との連携

- 保育参加（年 2 回）・全体懇談会・クラス懇談会・個人懇談会・家庭訪問・（各年 1 回）を通して保育理念、方針、クラスの取り組みを丁寧に伝え理解を求めるとともに、保護者の言葉に耳を傾け込められた思いを受け止めます。
- ドキュメンテーションやホームページを通して、「保育の見える化」として発信し、生き生きとした子ども達の姿を保護者に伝え、安心して保育所に預けていただけるようにします。
- 子ども一人ひとりの家庭背景を知り、その置かれている状況を理解し、保護者の思いを受け止めつつ家庭支援を行います。また、家庭の状況に応じ要保護児童対策会議に参加し社会資源と連携し地域と共に支援します。
- 発達障がいのある子どもの家庭には、毎月、面談で保護者の意向を聞き取り、個別計画を立て保育を進めます。また、療育施設と意見の交換を行い、連携を図り、情報の共有をします。
- 卒園児・転園児とその保護者への支援について、卒園・転園後も継続して行い、子どもたちを見守り、園長が相談窓口として受け付けます。

⑦人材育成

- 乳児から幼児に異動した保育士は、発達のつながりを実感し、だからこそ何が大切であるかを乳児クラスに伝え、また、幼児から乳児に移動した保育士は、今行っている保育が何に繋がっているのかその意味を理解し、主体的に意見交換を行いながら保育を進めていきます。0 歳児から 5 歳児まで繋がりのある保育を目標にクラス枠に捕らわれず、全クラスの「一日の保育の流れ」が職員みんなで理解できるように取り組みます。
- 毎週 1 回 KJ 法で自分の思いや相手の思いが素直に伝わる機会を設け、互いの思いに気付き連帯感を持って課題を乗り越える力をつけたいと考えています。
- 年間の職員研修計画に基づき園内外の研修に参加し、保育の質の向上と同時に、法人理念・方針を達成できる職員育成に努めます。また、キャリアパス研修参加の機会を図ります。

⑧地域の実態に対応した事業

地域子育て支援事業

西成区、阿倍野区、浪速区、天王寺区の支援室、保健師等、社会資源と連携しながら進めていきます。また、ホームページや情報誌「はぎっず」にて情報発信をします。

- 月に4回地域交流を行います。(10:00~11:00)

第2金曜日…近隣の親子が安心して遊べる憩いの場としての園庭開放を行います。

第1.3.4金曜日…保育体験日。年齢に合ったクラスに親子で参加します。

- プール開放や運動会、クリスマス会など行事に地域の親子を招待します。
- 「スマイルサポーター」の活動を通し相談事業を行います。

地域活動

- 天下茶屋保育所、天下茶屋幼稚園、わかくさ保育園と保幼交流を行います。
- 山王老人会や、隣接している老人施設みどり苑で和太鼓演奏を披露し、交流を行います。
- 就学先の小学校を訪問し各教室や授業風景を見学し就学に向け意識付けをします。
- 金塚小学校主催の「金塚祭り」に参加し小学生と交流します。
- 今宮中学生の職場体験学習の受け入れをします。
- 天王寺動物園と連携し、保育園で収穫したじゃがいものプレゼントをします。
- 西成警察署と連携し地域防犯活動やクリーンキャンペーンに参加します。
- ボランティア学生の受け入れをします。

⑨苦情処理

- 第三者委員2名の設置をし、苦情解決の責任者を園長、苦情受け付け担当者を主任とします。苦情解決システムについては園のガイドブックやポスターの張り出し、入園説明会で保護者に周知します。

- 「ご意見箱」を2箇所設置し、保護者からの意見の集約をします。

寄せられた意見について、全職員に周知し速やかに改善計画を立て再発防止に努めます。また、概ね24時間で回答書を掲示し、協議中の事案については経過の報告をします。

⑩リスクマネジメント

- 「よい子ネット」の登録の重要性について保護者全員に周知し、非常災害時や感染症発生状況等の配信を随時行っていきます。

- 危機管理委員会を中心に危機管理マニュアルの見直しを園内研修計画に位置付け、全職員に行き渡るように勉強会を開き周知していきます。

- 保健年間計画に基づき、感染症・SIDS対応・誤飲誤嚥・予防接種・食中毒・救急看護等の園内研修を行います。特にSIDS・溺水・吐瀉物の処理は役割を決めマニュアル通りシミュレーションして実際に備えます。

- ヒヤリハット活動の活用により保育士も含めた環境の見直しを行い、事故を未然に防ぐ事を重点的に進めます。

- 災害に備え備蓄品等防災グッズの確保と点検を行います。

- 月1回防災訓練を実施します。(火災・地震・津波・台風・消火訓練・通報訓練等)
- 救命救急の職員研修(年1回5月・西成消防署)また、総合災害訓練(火災・消火・地震)(年1回11月・西成消防署)を行います。不審者対策訓練(年1回2月・西成警察署)を行います。

⑪その他

- 床の清掃ワックスがけ 約 139,000 円
- 乳児用固定遊具 約 550,000 円